

## 北海道視察会報告

発行日:2019年7月16日

6月20日～21日の二日間、日建連との合同視察会にて北海道の株式会社苫小牧清掃社 勇払リサイクルセンターと野村興産株式会社 イトムカ鉱業所を訪問してきました。苫小牧清掃社は組合の共同購買処分先で、組合員の間処理施設から廃プラスチック類を主とした可燃物をRPF原料として委託しており、苫小牧清掃社でRPFを製造し王子製紙株式会社の苫小牧工場に燃料として供給しています。組合では共同購買処分先の施設について最終処分場は1年に1回、中間処理施設は2年に1回視察を行うと決められており、今回はその定期視察になります。

苫小牧清掃社では今年からRPFプラントの破砕機を増設して生産効率を向上させており、今後も組合員からの委託量増加に期待をしています。



翌日は野村興産のイトムカ鉱業所を訪問しました。野村興産社と組合は共同購買等の直接の取引はありませんが、使用済み乾電池や水銀使用製品産業廃棄物である廃蛍光管等の処理で組合員がお世話になっているJ&T環境株式会社で処理された水銀の処理先となっているところで、国内で唯一水銀を処理できる施設です。

イトムカ鉱業所は元々水銀が取れる鉱山で、イトムカはアイヌ語の「光り輝く水」という意味を名前に付けた水銀の生産施設でした。その後鉱山は閉山されて採掘することはなくなったのですが、鉱石から水銀を抜き取る技術で他の鉱山から水銀含有鉱石を受け入れ、水銀だけを抜き取って鉱石を戻すという処理を続けていたそうで、その技術が現在のリサイクル業に至っているとのことでした。

今回は北海道を約600km移動という厳しいスケジュールでの視察となりましたが、天候にも恵まれ、時折みられる雄大な景色は移動の疲れを忘れさせてくれるほどでした。



## スキルアップ講習会～タイムマネジメント研修～

7月3日、飯田橋レイナービル2Fにて33名の参加でタイムマネジメント研修を開催しました。田上氏を講師に招き以下のようなスケジュールで行われました。

- 1.仕事上の時間について考える
- 2.タイムマネジメントの基本
- 3.タイムマネジメントで失敗しない秘訣
- 4.判断カトレーニング(藤田さんのインバケット)
- 5.コストマネジメント、総合演習(ペーパータワーFORビジネス)



### 東明興業(株)小島氏の研修参加報告

- ・働き方改革に伴う、時間の制限や業務の効率化の重要性について取り組む必要があることを、再度認識する事ができた。
- ・自分が何故時間に追われているのか、追われてしまっているのかが研修を通して見つめなおすことができた。
- ・自分のタスクやスケジュールを把握し、見える化をすることで優先順位の決め方や他者(顧客、取引先、上司、部下)に使うことができる良い時間を作る事の重要性を知ることができた。
- ・P・ドラッカーの【私の観察では、成果をあげる者は仕事からスタートしない。時間からスタートする。計画からもスタートしない。時間が何に取られているかを明らかにすることからスタートする。】という言葉には、考えさせられた。
- ・仕事に優先順位を付けてそこでどのようにタスクやスケジュール、予定外の仕事の組み方を改善できるかが非常に大切であり、時間の効率化を行うカギになることがわかった。
- ・コストマネジメントとタイムパフォーマンスについては、自社を当てはめて分析しようと思った。

### 参加者アンケート結果はこちら

